

**EXCELで使える！
ハンディーターミナルを簡単運用
導入資料(セットアップ編)**

easy-EX®

< 動作環境 >

サポートOS	Windows 7 Professional(32bit/64bit)
	Windows 8.1 Professional(32bit/64bit)
	Windows 10 Professional(32bit/64bit)
	Windows 11 Professional(64bit)
ソフトウェア	Microsoft Excel2010(32bit)
	Microsoft Excel2013(32bit)
	Microsoft Excel2016(32bit/64bit)
	Microsoft Excel2019(64bit)
	Microsoft Excel2021(64bit)
対象端末	DT-X7,DT-5300,DT-X8,DT-X100,DT-X200

Dosコマンド実行しインストールする。
スタートメニュー> Windowsシステムツール>
コマンドプロンプトを開く。
>cd ["accessdatabaseengine.exe"が格納されたpath]
>accessdatabaseengine.exe /quiet

- Excel2016以降を使用する場合は、Microsoft Excel Driver(32bit)が別途必要です。“Access Database Engine 2016”をMicrosoftのサイトよりダウンロードし、インストールしてください。

※accessdataBase engine.exeの方をダウンロードしてください

該当ダウンロードサイト ⇒ <https://www.microsoft.com/download/details.aspx?id=54920>

- Visual C++ ランタイムが別途必要となります。
Visual C++ ランタイムは、“Microsoft Visual C++ 2008 再頒布可能パッケージ”に同梱されています。
Microsoftのサイトよりダウンロードし、インストールしてください。

※「easy-EX (32bit Excel)」は、vcredist_x86.exe

「easy-EX (64bit Excel)」は、vcredist_x64.exe

該当ダウンロードサイト ⇒ <https://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=26368>

PC環境への事前導入とExcel2016以上をご利用される場合

[PC環境への事前導入]

- easy-EXをお使いいただく場合、“Visual C++ 2008”を事前に導入しておく必要があります。 ※本資料のP10「9. 動作環境に記載」にダウンロードリンクがあります。

「easy-EX (32bit Excel)」を使用する場合は、**vcredist_x86.exe**を、
「easy-EX (64bit Excel)」を使用する場合は、**vcredist_x64.exe**を
ダウンロードし、インストールしてください。

[Excel2016以上をご利用される場合]

- Excel2016以降を使用する場合は、Microsoft Access データベース エンジン 2016 再頒布可能コンポーネントが別途必要となります。

“Access Database Engine 2016”をMicrosoftのサイトよりダウンロードして、
インストールしてください。

※Microsoft Access データベース エンジン 2016 再頒布可能コンポーネントには
ファイルが2つありますが、**accessdataBaseengine.exe**をダウンロードください

※前頁にダウンロードリンクがあります。

なお、インストールは下記の様にDosコマンドプロンプトから実施します。

スタートメニュー> Windowsシステムツール> コマンドプロンプトを開く。

>**cd** [“accessdatabaseengine.exe”が格納されたpath]

>**accessdatabaseengine.exe /quiet**

このオプションが重要です

例> Cドライブ直下に置いて実行する場合

>cd c:¥

>accessdatabaseengine.exe /quiet

3. Easy-EXセットアップの流れ①

例：PC側の導入ステップ

※詳しくは、Easy-EXのクイックスタートガイドも参照して下さい。

<PC環境>

OS : Windows11 HOME 24H2 64bit], Office : [Office2021 Pro 64bit]
が既にインストールされている状態への導入

手順① コマンドプロンプトを開いて、Microsoft Access データベース エンジン 2016 再頒布可能コンポーネントをインストールする。

※Cドライブ直下でAccessデータベースエンジンのインストールを実行する場合

C:¥>cd ¥

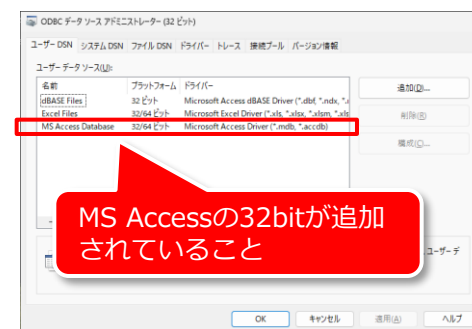
C:¥>accessdatabaseengine.exe /quiet

このオプションが重要です

手順② VC再配布可能パッケージ (Visual C++ 2008) をインストールする (本環境では、64bit版を導入)

※Cドライブ直下でVCパッケージ (64bit版) のインストールを実行する場合

C:¥>vcredist_x64.exe



●確認方法
ODBCデータソース(32ビット) 画面

手順③ easy-EX V1.31(最新)をインストールする(本環境では64bit版導入)

※デバイスドライバも一緒にインストールされます。なお、PCにWMDC(WindwosMobileDeviceCenter) またはActiveSyncが導入されている場合、該当ツールでのUSB接続を無効に変更する必要があります。

例：DT-X100への導入ステップ

※詳しくは、Easy-EXのクイックスタートガイドも参照して下さい。

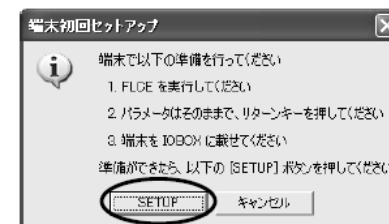
<端末側の構成>

- ・ 本体：DT-X100 ※SP1.18以上適用のこと(重要)
- ・ I/Oボックス：HA-F60IO (USB接続)

手順④ PC側でWindowsの「スタート」ボタンをクリックし、「すべてのプログラム」から「CASIO easy-EX」の「端末初回セットアップ」を選択し、起動する

手順⑤ DT-X100側でスタートメニュー -> プログラム -> 通信 -> FLCEを選択後、端末をクレードルに置くと自動で接続し、FLCEを実行する

手順⑥ DT-X100側に「端末初回セットアップ」ダイアログが表示されるので、“SETUP”ボタンを押して端末へのセットアップを開始する。



手順⑦ DT-X100 デスクトップの「easy-EX Setup」を実行する。



導入時によくあること

1. easy-EX導入後、起動すると実行時エラーが表示される

“easy-EX”実行時(=マクロ有効時)に下記のようなメッセージが表示される場合、お使いのExcelが32bitまたは64bitと合致していません。

「実行時エラー48

ファイルが見つかりません

¥System¥APPMAN¥TreeLogW.dll」

Excelのbitを確認するためには、Excelを起動し、“ファイル>アカウント>Excelのバージョン情報”にて下記表示されます。

Microsoft Excel XXXXXXXXXX 64 ビット」

Microsoft Excelが32bitの場合は「easy-EX (32bit Excel)」、64bitの場合は「easy-EX (64bit Excel)」をインストールしてください。

※Office2019では特殊な手順を実施しない限りは32bitのExcelがインストールされます。

2. 「easy-EX Setup」実行後のファイル転送が失敗し完了しない。

DT-X100、DT-X200で発生する可能性があります(その他機種は未確認)。

ただ、その他のeasy-EX対象機種においても、最新の推奨パッチもしくはサービスパックを適用いただくことを弊社は推奨しており、まずは最新の推奨パッチもしくはサービスパックの適用(適用確認)後、再度「easy-EX Setup」を実行するようにしてください。

導入時によくあること

3.Office365は利用できません。

“easy-EX”はOffice365には対応していませんので、必ずOffice 2021 Proなどお使いください。ただし、こちらの導入サポートは、情報システム管理者またはMicrosoft社になりますので、その点は留意ください。

4.PCにWMDC(WindwosMobileDeviceCenter)またはActiveSyncが既に導入されている場合、easy-EXでPCと端末間でUSB通信ができません。

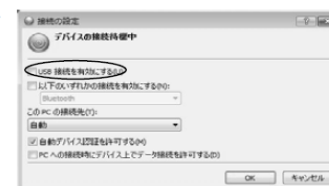
該当ツール(WMDC(WindwosMobileDevice Center)またはActiveSync)側でUSB接続を無効に変更しておく必要があります。

※ActiveSyncはWMDCの前身の商品です。

WMDC がインストールされている場合

パソコンに Windows Mobile Device Center(WMDC)がインストールされている場合は、次の手順でパソコンの USB 接続を解除します。(インストールされていない場合には不要な作業です。)

- 1 スタートメニューから Windows Mobile デバイス センターを起動します。
- 2 [モバイル デバイスの設定]の [接続の設定]をクリックします。
- 3 [USB 接続を有効にする]をクリックしてチェックマークを外し、[OK]をクリックします。



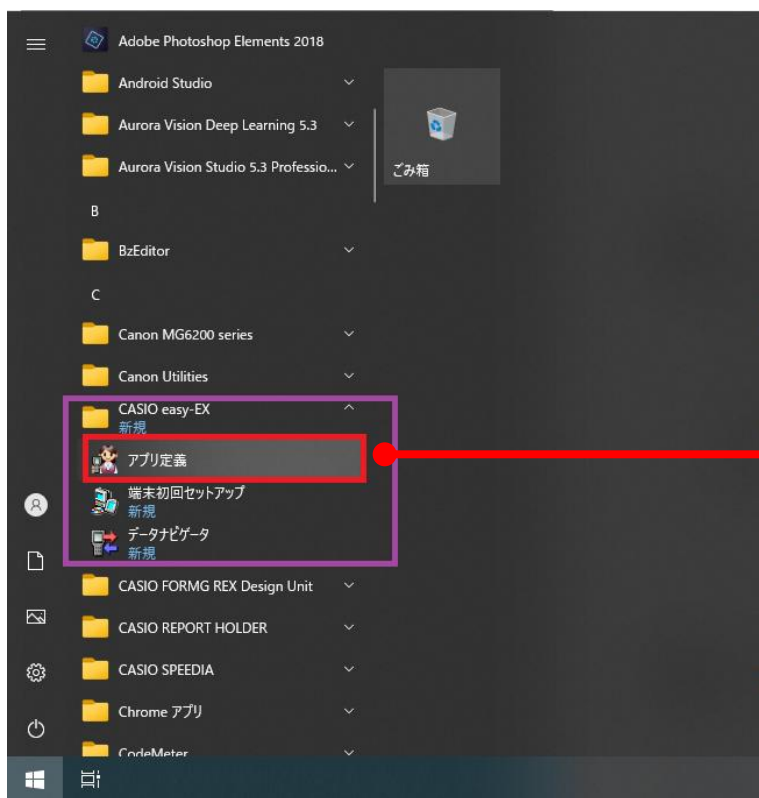
導入時によくあること

5.easy-EXの起動方法について

Windowsの「スタート」ボタンをクリックします。

「すべてのプログラム」から「CASIO easy-EX」の「アプリ定義」を選択します。

※Excel起動し、そこからeasy-EXが使えるわけでは無いのでご注意ください。



「セキュリティの警告」画面が表示されます。
発行者が「CASIO COMPUTER CO.,Ltd.」であることを確認して、「マクロを有効にする」ボタンをクリックします。

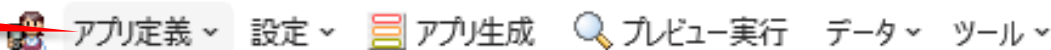


導入時によくあること

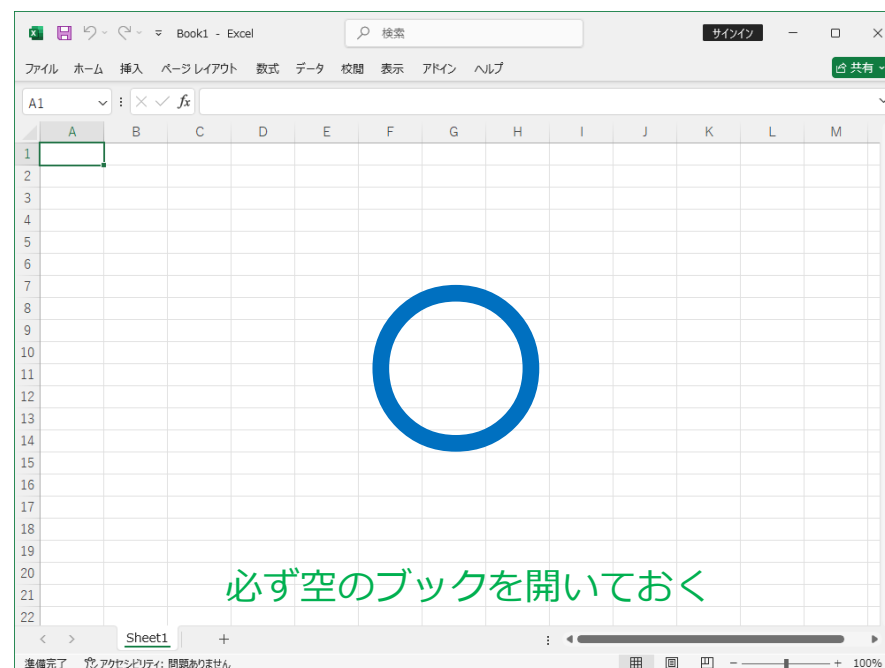
6. easy-EXの起動時の注意について

前述の「アプリ定義」でEXCELを開く際にシートがない状態で開くとアドオンメニューにあるeasy-EXのアプリ定義が開けません。

ここをクリックしても開かない



その場合は、「ファイル」より“空白のブック”を選択して空のブックを開きます。



その他

7.環境を移行する場合の注意事項

PCの入れ替えなどで環境を移行する場合は、「SPEC」と「DATA」のフォルダのみを移行して下さい。

また、端末にアプリと照合ファイルを再度転送しなおす必要がある場合があります。

※再度アプリを生成しなおさないと転送できない場合もあります。

8.出力されるデータの取り扱い注意事項

端末から転送されたデータを加工する場合は、できればコピーなどして取り扱ってください。
月度の棚卸などで毎月の元データをクリアする場合、最上部の項目名の行は消さないように注意して下さい。転送時にエラーになります。

※特にCSV形式で出力される場合には、要注意！

■ その他最新対応状況について

下記サイトを参照ください。

<https://support.casio.jp/information.php?cid=010&pid=1138>

■ easy-EX最新バージョンの入手について

下記サイトを参照ください。(製品購入され、会員登録されていれば利用可能です)

<https://techinfo.casio.jp/support/>

CASIO®